

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年8月23日 (2018.8.23)

【公表番号】特表2016-510084(P2016-510084A)

【公表日】平成28年4月4日 (2016.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-020

【出願番号】特願2015-561960(P2015-561960)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/66 (2006.01)

C 0 8 G 63/82 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 63/66

C 0 8 G 63/82

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年6月22日 (2018.6.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 4 】

重合中及び後続のあらゆる脱揮中における大量の揮発性の水又はアルコール成分の生成がないことにより、環状オリゴマーの重合後に、相対的に少量の揮発性化合物しかポリマー組成物に存在しないことから、より単純な脱揮系及びより温和な脱揮条件を使用できる。具体的には、分子量のために、環状オリゴマーはあまり揮発性ではない。さらに、環状オリゴマーは、遊離酸及び/又はヒドロキシル基を欠くので、残留した未反応の環状オリゴマー化学種は、ポリマー組成物の化学物質、色彩及び熱安定性に悪影響を及ぼさない。したがって、設計及び性質のために、環状ポリエステルオリゴマーにより、重合反応及び脱揮の両方に対して、時間及び温度の相対的に温和な条件で高分子量ポリマーを都合よく調製でき、その結果、ポリマー組成物の著しい熱分解を避けることができる。